

# 法人名 (公財)山梨県青少年協会

公益法人用

## 【法人の概要】

代表者名	内藤 いづみ		所管部(局)課	教育庁社会教育課		
所在地	甲府市川田町517番地		電話番号	055-237-5311		
ホームページURL	http://www.nns.ne.jp/ass/yp-yaf/top.html		E-mailアドレス	yp-yaf@nns.ne.jp		
資本金(基本財産)	51,000	千円	設立年月日	昭和45年11月20日		
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額		出資比率
	1	山梨県		20,000	千円	39.2 %
	2	山梨中央銀行		10,000	千円	19.6 %
	3	協会余剰金基金繰入金		6,110	千円	12.0 %
	4	山梨県市長会		5,000	千円	9.8 %
	5	山梨県町村会		2,500	千円	4.9 %
	6	柳町大神宮		2,500	千円	4.9 %
	7	山梨県信用組合協会		1,135	千円	2.2 %
	8	甲府商工会議所		1,060	千円	2.1 %
	9	山梨県経営者協会		930	千円	1.8 %
	10	県中小企業団体中央会		505	千円	1.0 %
	その他	6団体(者)		1,260	千円	2.5 %
設立経緯等	青少年の健全育成をはかる目的で県と賛助者の寄付金を基本財産として設立された。現在は県立青少年センター、県立愛宕山こどもの国、県立愛宕山少年自然の家、県立八ヶ岳少年自然の家、県立科学館の管理運営をとおり、青少年の健全育成事業を展開している。平成23年4月1日より公益財団法人に移行して					

## 【主要事業の概要】

事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H20年度	H21年度	H22年度
事業1 県立科学館の管理運営	青少年をはじめとする県民の科学に対する関心と理解を深め、豊かな感性と創造性を育み、教育及び文化の発展に寄与する。	390,925	402,623	403,568
事業2 県立青少年センターの管理運営	青少年に自主的かつ創造的な活動、交流等の場を、青少年を指導する者に研修の場を提供することにより青少年の健全な育成を図るとともに、勤労者に研修、交流等の場を提供することによりその福祉の増進を図る。	127,179	131,213	139,543
事業3 八ヶ岳少年自然の家の管理運営	子ども達を恵まれた自然の中に解放し、自然探求や野外活動を通じて豊かな情操を養うとともに、集団宿泊生活を通じて規律、協同、友愛、奉仕の尊さを体験的に学習させるなど、普段、学校や家庭では得がたい体験をさせ心身ともにうおいをもつ子どもを育成する。	101,165	104,122	103,271

## 【組織】

年度	平成21年度					平成22年度					平成23年度				
	職プロパー	派遣員	県職員	県OB	その他	職プロパー	派遣員	県職員	県OB	その他	職プロパー	派遣員	県職員	県OB	その他
4月1日現在の人員															
役員	理事(常勤)	2	1		1	2			2		2			2	
	理事(非常勤)	10		1	1	8	11	1	1	9	9		3	1	5
	監事(常勤)	0					0				0				
	監事(非常勤)	3		1	1	1	3		1	1	1				1
	評議員	12		2		10	11		2		9	8		1	7
計	27	1	4	3	19	27	0	4	4	19	20	0	4	3	13
職員	管理職	8	8			8	8				8	8			
	一般職員	18	18			18	18				19	19			
	臨時職員	22	22			22	22				22	22			
	非常勤職員	13	13			13	13				13	13			
計	61	61	0	0	0	61	61	0	0	0	62	62	0	0	0
プロパー職員の年齢構成(H24. 4. 1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計		平均年齢	平均年収				
	男性	0	2	7	3	8	0	20	役員勤	62.5	(千円) 4,875				
	女性	0	0	6	1	0	0	7	職員勤	41.5	(千円) 5,340				
	合計	0	2	13	4	8	0	27							

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		20年度	21年度	22年度	増減(22-21)
正味財産の状況	基本財産運用益	462	462	462	0
	受取会費・受取寄付金				0
	受託事業収益	647,811	657,259	664,922	7,663
	自主事業収益	85,776	87,483	98,075	10,592
	受取補助金等	10,805	11,244	446	△ 10,798
	その他の収益	2,270	4,186	1,881	△ 2,305
	経常収入 計	747,124	760,634	765,786	5,152
	事業費	739,809	734,847	743,446	8,599
	うち人件費	222,003	304,298	270,608	△ 33,690
	管理費	894	913	1,042	129
	うち人件費	0	0	0	0
	経常支出 計	740,703	735,760	744,488	
	当期経常増減額	6,421	24,874	21,298	△ 3,576
	経常外収入				0
	経常外支出	4,914	19,902	2,952	△ 16,950
	当期経常外増減額	△ 4,914	△ 19,902	△ 2,952	16,950
当期一般正味財産増減額	1,507	4,972	18,346	13,374	
当期指定正味財産増減額	0	0	0		
正味財産期末残高	68,377	73,348	91,694	18,346	

(単位:千円)

項 目		20年度	21年度	22年度	増減(22-21)
財務状況	流動資産	175,642	130,712	151,558	20,846
	固定資産	224,290	211,127	182,225	△ 28,902
	資産 計	399,932	341,839	333,783	△ 8,056
	流動負債	158,265	108,363	110,864	2,501
	うち短期借入金	0			0
	固定負債	173,290	160,128	131,225	△ 28,903
	うち長期借入金	0			0
	負債 計	331,555	268,491	242,089	△ 26,402
	正味財産	68,377	73,348	91,694	18,346
	うち基本財産への充当額	51,000	51,000	51,000	
うち特定資産への充当額	0	0	0		

(単位:千円)

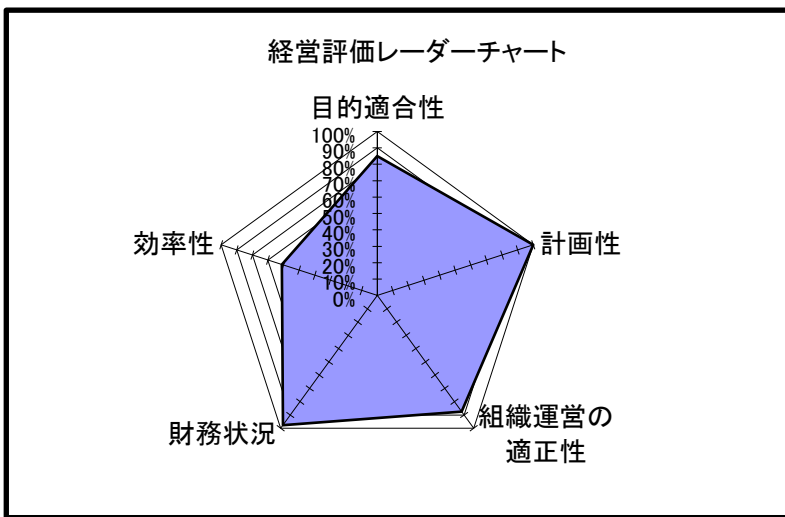
項 目		20年度	21年度	22年度	増減(22-21)
県の財政的関与の状況	負担金				0
	人件費(派遣法)補助金				0
	人件費(派遣法以外)補助金				0
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金	899			0
	補助金 計	899	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金	7,742			0
	人件費(派遣法以外)委託金	275,699	319,348	270,608	△ 48,740
	人件費以外の委託金	364,370	337,911	394,315	56,404
	委託金 計	647,811	657,259	664,923	7,664
	県支出金 計	648,710	657,259	664,923	7,664
県の財政的関与の割合(%)	86.8	86.4	86.8	0	
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	
補助金 (運営費)	
補助金 (事業費)	
委託金	指定管理者となっている5施設(青少年センター、愛宕山こどもの国、愛宕山少年自然の家、八ヶ岳少年自然の家、科学館)の管理運営に対する委託金等 合計 655,256,510円
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	17	85.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	20	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	14	87.5%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	43	97.7%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	9	36	22	61.1%
合計		34	136	116	85.3%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	青少年の健全育成をはかるという設立目的を達成するため、現在、県立青少年センターなど5施設の管理運営をとおして、青少年の健全育成事業を展開している。平成23年4月から、公益財団法人に移行している。
計画性	平成18年度から指定管理者制度が導入されたことによる経営計画の改定を行い、組織体制や事業の執行方針など新たな経営目標を定め、更なる協会経営の効率化促進を図った。
組織運営の適正性	組織のフラット化など業務執行体制の簡素化・効率化を推進し、また、ホームページにおいて定款、財務諸表・事業関係書類の公開や、個人情報の管理制度などを整備し、適正に取り組んでいる。
財務状況	臨時・非常勤職員の活用や入札の仕様見直しなどによる物件費の縮減に努めるとともに、外部団体との提携による魅力ある自主事業を展開することなどにより財源の確保に努めている。また、委託公認会計士の指導を受け、積極的に財務の改善に取り組んでいる。
効率性	施設においては、県内宿泊施設の利用者割引を実施し利用者の増加を目指している。平日の施設の有効活用を図るため、外部団体と提携し、専門の指導者による魅力ある事業を展開するとともに、専門技術を有する職員の複数施設での指導体制を促進し、低コストで充実した内容の事業展開を図っている。
総合的評価	経営計画を適正に推進するとともに、毎月行なう幹部会議で月次単位での組織目標達成状況の検証や、新たな事業の開発などに取り組み、経費の節減、正規職員数の減少などの見直しに伴う運営体制の弱体化を防ぎ、より一層の県民サービスの向上を図っている。



対応策	H21年度からの新しい経営計画による施設運営を推進するとともに、継続して情報公開による組織の透明性を確保する。また、県民ニーズの把握に努め、施設の有効活用を進め、協会独自の新たな事業を開拓するなど、魅力ある事業の開発などにより利用者数の増加による利用料収入増により安定した財源確保に取り組むことや、職員の資質の向上を図るため、各種研修を実施し企画力やサービスの向上に努める。
-----	---

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	青少年センターなど県の5施設の指定管理者となって、各県立施設の運営を行っており、協会の設立目的に適合している。目標設定の平均達成率も100%を上回っている。更なる顧客満足度の向上を望みたい。
計画性	指定管理制度に基づく平成25年度までの経営計画を策定し、経営の合理化、効率化に計画的に取り組んでいる。今後は、年次計画を詳細に設定し、変化する情勢に臨機応変に対応する柔軟性を付けて欲しい。
組織運営の適正性	財務諸表や事業関係の情報公開を進めている。予定される職員の定年退職への対応を慎重に行い、計画的な職員の新陳代謝を図っていく必要がある。
財務状況	経常損益の黒字化は定着しており、健全な財務状況となっている。県施設の委託費の占める割合が大きいことに対し、今後どのように対応していくかを検討し、新たな事業展開による自主財源の確保も目指して欲しい。
効率性	人件費の削減等の継続的な努力により、収益の黒字化が定着している。職員一人当たりの経常利益も安定しており、今後も引き続き経費縮減と魅力ある事業の創出に努め、低コスト・高サービスの施設運営を行うことが望まれる。
総合的評価	安定した施設運営、健全な財務状況など法人経営については、引き続きおおむね評価できる。現在の県施設の運営委託に大きく依存する状況への対応など、予見される諸課題への対応策の検討を予め進めておく必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">財務状況</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">効率性</div> </div>
総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;">A (75%~)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">B (60%~75%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">C (50%~60%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">D (~50%)</div> </div> <p>・平成18年4月から、青少年センター、科学館など5つの県立施設の指定管理者となり、利用者サービスの向上や経費の削減などに努めてきており、全体的に健全な経営状況にある。</p> <p>・専門技術を有する職員の複数施設での指導体制を推進するなど、低コストで充実した内容の事業展開を図っている。</p> <p>・今後とも、新たな経営計画に基づき、更なるコスト縮減やサービス意識の向上などに努め、引き続き効率的・安定的な経営を行っていく必要がある。</p>
※ ランク下の%は得点率の範囲	



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度から公益財団法人に移行しており、「民による公益の増進」の担い手の一翼であることを自覚し、青少年の健全育成に資することを目的として、より一層の利用者へのサービスの向上を図り、経費の有効的な活用やECO活動を推進し、公益財団法人として求められる社会的責任を果たせるよう努めていく。</li> <li>・各受託施設の利用者ニーズに応え、各種事業内容を充実させ、より高いレベルでのサービスの提供を行っていくことができるよう、専門技術を持った職員の養成を目的に、各種研修会や資格取得講座の履修を、協会全体として継続していく。</li> <li>・複数の施設が、共同して進めていくことによる利点を生かす事業を計画・実施し、また、専門技術を持った職員の有効利用を図るため、施設間での専門職員等の交流に取り組んでいく。</li> <li>・経営計画を着実に実行し、効率的・安定的な経営を行っていく。</li> </ul>
--